



ヨゼフアベイヤ司教認可  
発行所 福岡教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行人 下町豊重  
編集人 下町豊重  
カトリック福岡教区  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡司教区  
定価 一部70円

司祭叙階式 ジョン・ウォンチョル司祭誕生  
私がおこにおります 私を遣わしてください

3月20日(土・春分の日)、アバメアのマルチェロ・ジョン・ウォンチョル助祭(韓国テグ大司教区所属、福岡教区に派遣)の司祭叙階式がカテドラル大名町教会にてヨゼフ・アベイヤ司教の主司式で行われた。この日は曇天であったが、聖堂には司祭団、修道者、信徒等約180人が集まり、熱心な祈りが捧げられた。【叙階式の動画視聴方法は4面に】



司教(右)の授けを受けるジョン・ウォンチョル助祭(左)はジョン・ウォンチョル助祭を司祭団に加えることを宣言した。会衆は「神に感謝」と応え、会場は温かな拍手に包まれた。

### 新教皇大使の任命

教皇フランシスコは3月11日付で新駐日教皇大使として、イタリア出身のレオ・ボッカカルディ大司教(His Excellency Monsignor Leo Boccardi)を任命した。

レオ・ボッカカルディ大司教は1953年4月15日、イタリアのサンマルティノ・イン・ペンシリス生まれ。1979年6月24日、司祭叙階。神学博士。87年にはパチカンの外交官に就任し、ウガンダ、パプアニューギニア、ベルギーで外交活動を行う。

2007年から2013年まで駐スーダン・エリトリア教皇大使を務め、2013年7月11日、駐イラン教皇大使を務めていた。

### 4月25日 世界召命祈願の日

一人ひとりに与えられた召命のために祈りましょう。

### 平成28年熊本地震から10年

関連記事を3面に掲載

### —鄭(ジョン)師の略歴—



1991年8月14日生まれ。29歳。韓国大邱(テグ)教区所属。2017年2月大邱カトリック神学大学神学部を卒業後、3月に来日。日本語を習得して18年4月日本カトリック神学院・福岡キャンパス(現福岡サン・スルピウス大神学院)に入り、19年2月新田原教会で祭壇奉仕者に選任された。同年12月27日、大邱教区カテドラル・ボムオ聖堂で助祭に叙階。今年3月、同大神学院を卒業し、2021年3月20日、司祭叙階。

遺されることを心に刻み、恐れず任務に励むように」と訓話した。ジョン助祭は「司祭に叙階される者の約束」を行った。「諸聖人の連願」の後、司教と司祭団の授けがあり、司教の叙階の祈りによってジョン助祭は晴れて司祭叙階の恵みに与った。感謝の祭儀に入り、司教は祭服に着替えたジョン・ウォンチョル新司祭の手に聖香油を塗り、聖別し、ミサに用いるパテナとカリスを授けられた。その後、新司祭は共同司式者として祭儀に加わった。拝領祈願後に行われた祝賀式典では、テグ大司教区から

### 4月の意向

【教皇様の意向のために祈りましょう】  
【世界共通の意向】基本的権利  
【日本の教会】平等な社会を目指して

### 福岡教区司祭評議会 「コロナ禍でも熱い討議がなされた」

2月25日(木)、大名町教会にて教区司祭評議会が行われた。コロナ禍の中で数人を除き殆どの評議員が参集した。

初めの祈りの後、アベイヤ司教より挨拶と議題の説明があり、各地区での意見集約の結果報告を期待しているとの話があった。議題に入り、各地区からの報告を基に話し合いが行われた。

①司祭生涯養成について  
全司祭はキリストの弟子として、生涯においてキリストの姿を追い、学び、生きるように努めるべきである。司祭の自己養成は義務でもある。自らも学ぶ姿勢を作るべきであるなどが話された。また、日本の教会における叙階の年数に応じた生涯養成プログラムが紹介された。

②外国人司牧について  
この計画 現状は各地区で単独に行われている外国人のミサや秘跡がある。これを教区の責任において、必要とされる地区に担当司祭を派遣することが考えられる。来日する外国人の信仰を保つ必要があるなどが話された。

③司祭職・修道生活への召し出しの推進  
福岡コレジオ院長の牧山美好神父と大神学院院长の牧山強美神父がそれぞれの養成課程の現状と展望を話し、共感共有を求めた。両神学校共、神学生の減少に頭を悩ませており、召命への祈りと働きかけを求めた。その後各グループに分かれ、「召命」について話し合った。「まず『召命』のために祈ること」、また、「普段の司祭らしい生

④結婚準備セミナーの現状とこれからの在り方  
現状では、福岡と熊本地区が準備セミナーを実施しているが、該当者が少ない地区では準備セミナーを開催することは難しいと思われる。その分、個々の小教区で結婚講座は行われている。

⑤年間行事の確認  
先の見えないコロナ禍の中で、各地区の行事も定まっていないのが現状。教区本部にお知らせできるときに連絡すること



熱い討議が交わされた司祭評議会の様子



新しい草花の芽生えに何かが始まっているのを感じます。私たちの場合、何があっても動じることはありません。私たちの歩く道にはイエス様がいてくださるからです。イエス様が私たちより先に行って道を教えてくださる時もあり、悲しみの坂など進めないような所でも後ろから支えてくださる時もあり、腕を組んで一緒に歩いてくださる時もあり。時にはきれいな景色をみせてくれ、喜びや希望を与えてくださる時もあり、暗い所をさまよっていても、「たいじょうぶだよ」とささやき、慰めてくださるイエス様がいらっしゃるのです。いろんなことを経験しながら、人生という道を行く私たちが、大切なことは「歩みの中で無駄なことはない」ということです。その時、その時が価値あるものなのです。それはイエス様がいつもいつしよに時を過ごして下さるからです。そのイエス様を主と仰ぎ、キリスト(救い主)として受け入れることができたことは本当に神様からの一方的な恵みであるとしか考えることができせん。ならば、神様に感謝しながら、神様からいただくイエス様のことをもっとよく知り、愛していくことが大切です。一番高い点(天の国)から一番低い点(十字架の死)にまで降りて来られ、自分のすべてを捧げて人々を愛し抜かれた、そして救ってくださったイエス様を思う時、人の救いのための神様のご計画に驚くとともに、その業に感謝し、イエス様の思いを大切にしたい、愛を返す生き方をしたいかねばならないのが私たちです。(S)

### 時の話題

### 救いの対話

「救いの対話」という表現は、「対話の教皇」といわれる聖パウロ六世にさかのぼります。教皇様は回教『エクレジウム・スラム』で、神は初めから、人類が罪を犯した後も、人間の救いの対話を常に繰り返してこられたと述べています。教会はすべてのところで、すべての人々と明瞭、柔和、信頼、賢明な対話を続けなければなりません。聖ヨハネ・パウロ二世

教皇は、「諸宗教間の対話は、福音化をすすめる教会の使命の一部です(回教『救いの使命』55)」。また「つねに同じ程度や同じ方法によるわけではありませんが、信者一人ひとりとすべてのキリスト者の共同体は、対話を実践するように招かれています(同57)」と述べておられます。このような指針により日本ではいろいろな対話の動きがありました。たとえば、2009年、カトリック司教協議会諸宗教部門から信徒を支援するために指針『諸宗教対話の手引き』が出版され、それは英語・ポルトガル語にも翻訳、出版されました。

だれにでもできる対話の一例として、教皇庁諸宗教対話評議会から毎年正月元旦に神道信者に向けて、また花祭り(4月8日)には仏教徒のみなさんに向けてメッセージが発せられます。その機会に神社や寺院を訪ねて祝意を述べ、またこのメッセージを渡すことなどがあります。そういうことが、もしも主任司祭と一緒に信徒の皆さん数人のグループで実行できるといいのではないのでしょうか。そのために、祭りに先立ち司教館から各主任司祭のもとに教皇庁のメッセージが届いていると思います。

真名山・諸宗教対話センター  
Sr.デ・ジョルジ マリア  
(マリア布教修道女会)



言うまでもなく、カトリック教会の伝統は、ヨセフが偉大な聖人であり、信者の素晴らしい模範として示しています。教皇フランシスコもそれを使徒的書簡『父のこころ』の中で確かめたと思います。

しかし、同時に教皇はとても面白いことを示唆したと思います。「ヨセフは、天使によって明らかにされた名前を与え、イエスの法的な父になる創造的な勇気を持っていました…」ということです。つまり、教皇は創造的な勇気を聖ヨセフの信仰の特異な点として示すのです。神の御独り子とその母マリアを受け入れてから、二人の命を守り、安全な家庭を作り、日常生活に必要なものを備えるために何度も考え方や行動の勇気を表さなければなりません。その勇気を発生していたのは責任感より信仰でした。

私は『父の心で』を読む時、聖ヨセフの信仰のすごい勇気を感じるのです。神が人となり、その神を腕に抱いて、自分の子のように養い育てていくのは、ユダヤ教

### 【信仰の勇気】 D・アルビン神父 (馬渡島教会)



信者には信じられないことでした。まして、神に対する酷い冒瀆でしたから。ところが、神に応えた聖ヨセフは宗教の限界を超える程の勇気を出して信じました。なぜなら、「神に出来ないことは何一つない」(ルカ1章37節)からです。

今、ご復活節が始まります。イエス・キリストの十字架と復活の神秘をいくら深く考えても信仰の神秘です。教会、み言葉、秘跡の中で、その私たちと共にいてくださることは事実ですが、悟るためには信仰しかありません。聖ヨセフと同じ信仰の勇気を出し、復活された主に心を開きましょう。与えられた復活の賜物、すなわち平和、愛、喜ばしい希望などを隣人と分かち合うように、心の勇気、その創造力を注ぎ込みましょう。このようにしてこそ、私たちがあらゆる困難、特に今の難しい時との戦いに一番よく応えるものとなると思います。

教皇フランシスコは強調します。「助けを必要とする人、苦しむ人、死に瀕する人、外国人、囚人、病者、その一人ひとりが、ヨセフが保護し続けている『御子』なのです」と。聖ヨセフよ、どうぞ、私たちの心も、手も、足も導いてください。あなたに従って自分の信仰の勇気を恐れず、他人の中の『御子』に仕えることができますように。

3月19日(金) 10時からカテドラル大名町教会で、聖ヨセフの祭日のミサがヨセフ・アベイヤ司教司式で行われ、5人の司祭と助祭、約30人の信徒が共に祈りを捧げた。ミサの初めに、司教は今年が聖ヨセフ年であること、そして聖ヨセフが教会の保護者であることを紹介し、「教会を見守ってくれるように、そして、私たちが聖ヨセフの模範に従

## 司教霊名のお祝い カテドラルで聖ヨセフの祭日のミサ



い共に信仰の歩みを進め支え合っていくために、このミサを捧げましょう」と語った。説教の中では、フランシスコ教皇の使徒的書簡『父の心で』に書かれている聖ヨセフの「父の心」の7つの特徴を紹介。また、司教自身にとって、ヨセフについてのイメージはマタイ福音書に書かれている「正しい人」であることを分かち合い、その「正しさ」は「間違いを起こさない」ということではなく、「神を畏れ、神の御心を行う」とであると説いた。

ミサの終わりに司教総代理で大名町教会主任の杉原寛信神父から、司教への感謝と教区民の一致した歩みを願う祈りの言葉が述べられた。



福岡県の緊急事態宣言が解除された最初の日曜日3月7日、アベイヤ司教は今村教会へ司教訪問された。境内では約60人の信徒に拍手で迎えられた。10時からのミサは、新型コロナウイルス対策としてナ対策として地区別として70人の信徒が参加し

今年を駆け、教区内の55小教区を訪問する予定は、緊急事態宣言の発出で一時中止になった。しかし、解除を受けて早々に再開された。今回は筑後地区、熊本地区の4教区の訪問についての報告を掲載する。

### アベイヤ司教 教区内司教訪問

今年を駆け、教区内の55小教区を訪問する予定は、緊急事態宣言の発出で一時中止になった。しかし、解除を受けて早々に再開された。今回は筑後地区、熊本地区の4教区の訪問についての報告を掲載する。

#### 今村教会

福岡県の緊急事態宣言が解除された最初の日曜日3月7日、アベイヤ司教は今村教会へ司教訪問された。境内では約60人の信徒に拍手で迎えられた。10時からのミサは、新型コロナウイルス対策としてナ対策として地区別として70人の信徒が参加し

温かい雰囲気にも包まれて、約70人の信徒が参加し、司教が挨拶を述べられた。ミサ後の懇談会では、今村天主堂の使用禁止と、耐震化補強工事計画に関わる現状を語り、国、県、町、福岡教区、小教区が一致して推し進めて行かなければならないと訴えられた。

アベイヤ司教は、生い立ちから24歳で日本へ派遣後の現在までを語り、終始笑いを交えての懇談で会場は温かい雰囲気にも包まれた。最後は皆で記念撮影をし、コロナ禍の中でも信徒は温かい気持ちになり信徒会館を後にした。

#### 本郷教会

3月7日(日) 四旬節第3主日にヨセフ・アベイヤ司教が本郷教会を訪問された。約60人の信徒が司教を迎え、8時30分より司教司式によるミサが行われた。



本郷教会、アベイヤ司教司式のミサ

- ◆平田敬師 (光丘教会主任)
- ◆宮原良治司教 (佐賀教会協力)
- ◆リチャード・ストリゼウスキー師 (神言修道会) (伊万里教会主任) 伊万里教会・武雄教会主任
- ◆下町豊重師 (佐賀教会主任)
- ◆佐賀教会・多久教会主任
- ◆アルビン・ドゥゴシユ師 (ポーランド ブシエムイシル教区) (馬渡島教会主任)
- ◆呼子教会協働 馬渡島教会・呼子教会主任
- ◆櫻井尚明師 (手取教会主任)
- ◆手取教会・帯山教会主任

### 福岡教区人事異動

( ) 内は現任地、順不同

- ◆2020年4月11日付
- ◆平田敬師 (光丘教会主任)
- ◆宮原良治司教 (佐賀教会協力)
- ◆リチャード・ストリゼウスキー師 (神言修道会) (伊万里教会主任) 伊万里教会・武雄教会主任
- ◆下町豊重師 (佐賀教会主任)
- ◆佐賀教会・多久教会主任
- ◆アルビン・ドゥゴシユ師 (ポーランド ブシエムイシル教区) (馬渡島教会主任)
- ◆呼子教会協働 馬渡島教会・呼子教会主任
- ◆櫻井尚明師 (手取教会主任)
- ◆手取教会・帯山教会主任



アベイヤ司教と二日市信徒の皆様

#### 二日市教会

3月14日(日)、アベイヤ司教が、西鉄電車で二日市教会を司教訪問された。信徒約140人が与かったミサのなかで、司教は、「十字架は光を放つもの、愛のしるし、救いのしるし、十字架を祈りながら見つめて、何が私たちの

健康教会では四旬節の中、3月21日(日)にヨセフ・アベイヤ司教の司式の下、皆十代の若い女性3人、男性1人、計4人の堅信式が行われた。司教は初めに「今日のごミサの中で皆があなたたち4人のために祈りするので、説教の中では、「イエス様がなさったことを思い起こし、私たちに与えられた十字架にはどのような意味があるのかを考えてください。また、聖霊を受け、愛と慈しみを受けること、この恵みによって私たちに与えられた力が与えられます」と力強く語られ、ご復活を前にして堅信の秘跡を受けた4人を始め、私たち健康教会の信徒は大きな恵みを頂いた。この若者たちの信仰がイエス様の愛によってますます高められることを祈っている。



健康教会、4人の堅信式が行われた

- ◆中村信哉師 (唐津教会主任)
- ◆呼子教会管理 唐津教会主任
- ◆牧山美好師 (福岡コレジオ院長) 福岡コレジオ院長
- ◆ソ・インデク師 (韓国インチョン教区) (浄水通教会協力)
- ◆キム・ソンチョン師 (韓国ソウル教区) (茶山教会協力)
- ◆手取教会・帯山教会主任
- ◆十時伸治師 (武雄教会・多久教会主任) 光丘教会主任
- ◆船津亮太師 (大名町教会協働) 小倉教会主任
- ◆アントニオ・サミ・イルダヤラジ師 (オブレート会・高松教区) 古賀教会協働
- ◆岩下和樹師 (長崎教区) 茶山教会主任
- ◆ジョン・ウォン・チョル師 (韓国テグ教区) 大名町教会主任
- ◆古川健一師 (オブレート会) (古賀教会協働) 高松教区へ
- ◆マキシム・デソーザ師 (カプチン・フランシスコ修道会) (高宮教会主任) 那覇教区へ
- ◆地区長辞令
- ◆福岡地区長 十時伸治師 (光丘教会)
- ◆北九州地区長 大塚了平神父 (直方・田川教会)
- ◆筑後地区長 田中重治神父 (大牟田教会)

### カトリック古賀教会 納骨堂のご案内

カトリック古賀教会内に3年前に建設された、比較的新しい納骨堂です。年に1度、主任司祭による慰霊祭も執り行われております。取得費用は、下記の通りとなります。1区画 ¥300,000(別途、管理料等がかかります) 詳しい資料、見学等のお問い合わせは、下記までお願いいたします。カトリック古賀教会 住所：福岡県古賀市花見東2丁目23-1 電話：092-942-2171



### 奉仕と分かち合い ボランティアグループ SECO の会

【活動内容】フィリピンの貧しい「母子のセンター」援助 【活動日時】毎週水曜日 10時～16時 【問合せ先】聖心のウルスラ宣教女修道会 Sr. 蔵 ☎092・512・0033

別れ・出逢い・旅立ち

## 草苑 (SOUL-EN)

カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。

### 木下株式会社

TEL 092-526-5656 〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

# 熊本地震から5年の歩み



西原村の農業体験の様子

熊本地震から5年、最大の震源地益城町の整備が進み、阿蘇とつなぐ新阿蘇大橋の完成でインフラ整備がほぼ完了した。

福岡教区の災害被災者支援室と熊本地区カトリック女性の会による西原村のNPO法人阿蘇への資金支援は2019年度で終了。NPOとして田んぼ一枚三万五千円、収穫したコメが届けられる水田オーナー制度を新たに

## 青年の集い第40回ネットワークミーティング (NWM) in Online

今回のNWMは、新型コロナの影響でオンラインで開催されました。全国から多くの青年が参加しました。

今回は、横浜教区と大阪教区の合同開催でした。離れた教区同士での合同開催ができるのも、オンラインの強みだと感じました。テーマは「こんな時こそネットでネットワークミーティング～不滅の絆～」。オンライン開催ということもあり、日頃はこのような全国規模のイベントには参加できない青年も多く参加して、新鮮な気持ちで参加することができました。

プログラムの中で休憩時間が多めに設けられており、長時間画面の前に座っていると疲れるので、ありがたく感じました。また、休憩時間を利用して、同じ班のメンバーや友人同士で会話することもできました。パソコンなどの通信機器が苦手な参加者のための係が設けられているなど、最終参加者への配慮に満ちたNWMだったと思います。

全体を通して、今までにあまり体験したことのない新しい形のNWMで、新しい感覚や現地での開催にはない良さも多くありましたが、個人的にはやはり現地で実際に顔を合わせることにありがたみを感じたNWMでした。

次回のNWMはオンラインでの実施か現地での実施かは未定とのことですが、一回でも早く現地で仲間と集うことができるようになってほしいです。

(報告=糸島教会 古賀 健人)

人が参加。教会活動の原点にかえり、分かち合いができる親しみやすい教会を目指し、手取教会では新年度に向け信

## 新しい「愛」の創意工夫

長引くコロナ禍で、公開ミサをはじめ、様々な教会行事の中止が余儀なくされている。そのような中においても行われた活動について、いくつかを紹介する。

「隔離されていても、私たちの思いと心を、愛の創意工夫によって、遠くに届けることができます。愛の創意工夫こそが、私たちが今、必要としているものです。」(教皇フランシスコ、2020年聖週間に向けてのビデオメッセージより)

### カテドラル大名町教会

(報告=大名町教会 里村)



聖マリア病院に羽ばたいた千羽鶴

昨年2020年の四旬節、緊急事態宣言が発令され公開ミサも中止となり、教会の扉は閉ざされ、経験したことのない信仰共同体の月日を過ごすこととなりました。

そのような折、日夜懸命に新型コロナウイルス感染者へ携わる医療従事者への感謝をこめて、折り鶴を折り、医療機関へ送りませんとある信徒からの声が届きました。評議会、広報担当者の協力を得て、1か月分の「聖書と典札」、教会ニュース、教区報、そして千羽鶴の案内を折りのうちに各信徒のご家庭に届けました。

6月に公開ミサが再開、ご家庭で折りのうちに折られた3千羽の鶴が集まりました。3体の千羽鶴が出来上がり、ミサの中で祝福され、久留米市の聖マリア病院と八女市のみどりの杜病院に贈ることができました。そして残る1体は、毎週金曜日14時、医療従事者への感謝の鐘と折りのうちに教会ロビーに展示。信仰共同体の折りを形にして、届

## 徒役員が「信徒の手引き」

「信徒の活動グループ紹介」の冊子を編集している。(報告=手取教会 小野豊和)

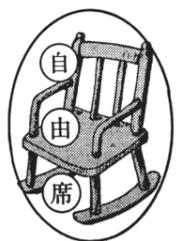
### 光丘教会

(報告=光丘教会 里村)

毎年、教会学校がネパールの子どもたちのためにクリスマス街頭募金を行ってききました。福音の光修道会のシスター川岡が現地でも立ち上げた保育園「ジョティ・キャン德拉」に居る80人あまりの子どもたちに一年分のミルク代を確保するためです。

今年もコロナ禍の中、教会学校が街頭募金をためらう時期がありました。しかし、私たちがミルク代を出せないからと言って、ネパールの子どもたちの成長には、ミルクが必要なくなるわけではない。どうか私たちが寄り添う気持ちを届けたいと思い、リーダー一同が真剣に話し合っていました。

その結果、コロナ対策をしっかりと講じた上、今年も街頭募金を行う事にしました。



ミサに与れない苦しみを心砕かれたその日

菊池教会 榎山今日子  
1月半ばにミサ中止の知らせが突然届きました。ミサ曲を歌った喜びのクリスマスミサを迎えたいばかりで、やっと皆で賛美出来る様になってからのこの急な知らせに心が砕かれる気持ちがしました。洗礼を受けてから約30年間、ミサの2時間前に行き、ミサやオルガンの準備などしながらミサに与る事で私の生活は生かされていきました。ですから、ミサに与れないということとは、体の一部が無くなる様なそんな感覚さえ込み上げて

参加者が密になることを避けるため、回数を昨年の1回から3回に増やし、最初の2回はお祈りの前、3回目は春日原駅前で行いました。

「あなたのしようとすることを主にゆだねよ。そうすれば、あなたの計画はゆるがな(箴言16章3節)。予想以上、沢山の応援を頂き、来年のミルク代を確保できました。

教会学校の募金活動は今年で7年目です。私たちの努力と祈りを、神さまがネパールの子どもたちと私たち自身、光丘教会の子どもたちへの恵みに変えてくださると信じます。来年も頑張ります！

(報告=光丘教会 柚)

北九州地区

3月7日(日)、福岡県の緊急事態宣言解除をもって、第3回の北九州信徒徒職協議会代表者会議が開催されました。十分な活動ができない中、各小教区からいくつか嬉しい報告がありました。

◆原稿は4000字以内  
◆投稿先・福岡カトリック司教館  
FAX 092-523-2115  
メール cdt.kohou@nifty.com  
皆様の声をお待ちしております。

きたのです。同時にミサに与れないイエス様から離れそうになる自分の信仰の弱さも感じました。この気持ちを誰に話さずともなく、真つ先に神父様に聞いていただいていた落ち着きを取り戻しました。私の信仰はまだまだ本當の意味で神に委ねる事が出来ていないんだと改めて感じました。「いつもあなたたちと共にいる」とおっしゃったイエス様、ミサに与れない辛さの中でも常にイエス様と共に、イエス様の中で生きていくと自覚出来るようにと願っています。

洗礼の秘跡に与った方、または予定されている方が10人ほどおられるようです。年始には各教会で成人のお祝いが行われました。また、ミサのYouTube配信を始めた教会もあります。教会に足を運べない高齢の方や仕事のある方のために、コロナ後も続けてはどうかという意見が出ました。例年開催してきた平和の集いは今年も開催は難しいと思いますが、メッセージをYouTube配信するなど、コロナ下でもやれることはありと前向きな意見が交わされ、大いに力づけられました。

(報告=水巻教会 田中)



☆カトリック・サブリ5  
新しい未来を生きるあなたへの25のメッセージ  
竹下節子著



講演会、演奏会等発信の機会が閉ざされたコロナ禍で、日本に行かれない今だから、ぜひ伝えたいことがあるという著者。

「今、あなたに届けたい！」という著者の熱い思いが込められた書き下ろし8編を含む25編は、未来を絶望することなく、与えられた冒険にチャレンジしようと呼びかける。

ドン・ボスコ社発行  
税込価格 814円

☆傷は希望へのしるし  
苦しみを喜びに変えるための8つのステップ  
平林冬樹著



イエズス会司祭の著者が、聖イグナチオの『靈操』の手法を取り入れながら困難の中にも希望を見いだすための道筋を示す祈りの手引書。黙想のテーマの解説、聖書のみことば、黙想の要点という3つの部分からなる8つの各ステップを毎日1つずつ折り、8日間が終わることが出来る。

ドン・ボスコ社発行  
税込価格 550円



『クリスマス街頭募金』ネパールに寄り添う気持ちを



ミサのYouTube配信

不動産全般/売買・賃貸・管理  
なんでもお問い合わせください

**(株)ジャパン・スマイルか**  
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子  
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号  
TEL 092-761-8800  
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313  
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**  
ヨゼフ 森山新太郎  
福岡市早良区四箇1丁目15番28号  
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

**セント・ポール FUKUOKA**

キリスト教書籍・信用品・ビデオ・DVD・CD  
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F  
平日/AM10時30分~PM3時  
日曜/AM11時~PM2時(定休日 水曜・祝日)  
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601  
URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標 **ともに歩み 支えあっていく共同体**

ジョン新司祭の叙階式 動画視聴方法



ジョン・ウォン  
チョル新司祭の叙  
階式の模様が動画  
で視聴できます。

YouTubeで「カトリック福岡司教区 司祭叙階式」と検索。または、下記QRコードを読み取って視聴。



この機会に是非 YouTube「カトリック福岡司教区」公式チャンネル登録を！

<お知らせ：2021年3月末で閉院の修道院>

- ◆ 福音の光修道会 福岡修道院(福岡市博多区)
- ◆ 聖パウロ女子修道会 福岡修道院(福岡市中央区)
- ◆ けがれなき聖母の騎士聖フランシスコ修道女会 被昇天の聖母修道院(唐津市鎮西町馬渡島)

シスター方のお働きに感謝し、各修道会のこれからの歩みの為にもお祈りいたします。

福岡教区広報室アドレス  
http://fukuoka.catholic.jp  
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板 会合と催し

4月のこよみ



2021年4月4日 復活祭  
主のご復活 おめでとうございます。  
「私は復活しあなたと共にいる」

4月13日(火)

司教座聖堂(カテドラル大名町教会) 献堂記念

司教座聖堂は教区の母聖堂と呼ばれ、一小教区の聖堂であることを越えて、司教と共に全教区民が集うところ、その献堂記念日は教区の祝日です。福岡教区の神の民の発展のため心を合わせてお祈りください。

今年は4月11日(日)が「カテドラル特別献金日」です。福岡教区の宣教活動の場であるカテドラルの維持管理のための献金をお願いいたします。

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：祈りの実り：イエス様と共に、イエス様のように生きること

日時：4月8日(木) 10時～15時

内容：神の国でキリストと共に食事の席に着く(ルカ22:30)

指導者：S. フランコ神父(聖ザベリオ宣教会)

問合わせ先：真命山諸宗教対話センター

次回：5月13日(木)

給仕するイエス様に学ぶ(ルカ22:27)

☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186

熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

- 1日(木) 聖木曜日(主の晩さんの夕べのミサ)  
†J.クレハン(2008年 荒尾教会)
- 2日(金) 聖金曜日(主のご受難の祭儀)(大斎・小斎)  
聖地のための献金
- 3日(土) 聖土曜日 復活徹夜祭ミサ  
†A.アレグリーニ(2006年 ロザリオの園)
- 4日(日) 復活の主日  
糸島教会司牧訪問  
†ベトロ黒川博(2002年 大牟田教会)  
†V.ヤンキャンブ(2019年)  
†アウグスチノ片岡哲夫(2016年)
- 6日(火) 常任司教委員会
- 8日(木) 西新幼稚園落成式
- 10日(土) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)  
カテドラル特別献金日  
光丘教会司牧訪問  
†ヨハネ床島藤吾修道士(2014年 司教館)
- 11日(日) 福岡教区司教座教会献堂記念日ミサ
- 13日(火) 復活節第3主日  
老司教会司牧訪問
- 18日(日) 経済問題評議会
- 20日(火) 復活節第4主日 世界召命祈願の日  
大楠教会司牧訪問  
†J.L.カズレ(2008年 サンズルピス)
- 25日(日) 司祭評議会
- 27日(火) 復活節第5主日 西新教会司牧訪問
- 【5月】
- 2日(日) 復活節第5主日 西新教会司牧訪問
- 3日(月) 憲法記念日
- 4日(火) みどりの日
- 5日(水) こどもの日

■ゴシックは司教日程

集いの案内について

掲載依頼のあった集いのみ、掲載しております。感染症の状況によっては開催が中止となります場合があります。

福岡

- ◆ 子どもを亡くした親の会  
「虹の会」(日時)4月3日(土)14時から(場所)サンパウロ福岡宣教会センター3階(参加費)500円(茶菓子代)子どもを亡くした関係のあるかたどなたでも。マスク着用のこと(問合せ先) ☎090・1162・6895 柴田
- ◆ セコの会 セコの会では、手芸などを制作し、バザー等で販売してその収益でフィリピンの貧しい人々を支援しています。当会では作品作りに参加して下さるボランティアアを募集しています。(日時)4月7日より毎週水曜日14時～16時(場所)福岡市南区塩原4丁目25 聖心のウルスラ宣教会修道女会・敷地内の日本家屋(問合せ先) ☎090・7927・3636 永田



「愛のよろこびの家族年」  
-使徒的勧告『愛のよろこび』の考察深める特別年-

教皇フランシスコの使徒的勧告『愛のよろこび』発表5周年を記念する「愛のよろこびの家族年」が2021年3月19日に始まった。2022年6月26日にローマで開催予定の「第10回世界家庭大会」まで行われる。

使徒的勧告『愛のよろこび』(2016年3月19日発表)は9章から成り、第1章は聖書の叙述を基礎に置き、第2章は家族の状況を述べ、第3章は家族の召命について語っている。次の2つの章、第4章と第5章は、特に夫婦愛のテーマについて述べている。第6章は司牧的展望について語り、第7章は子供たちの教育について述べ、第8章は離婚と再婚についての示唆を、そして第9章は夫婦と家庭の霊性について載せている。



社会や環境の急激な変化、個人主義の台頭、人間の関係性の希薄化や変貌などによって、価値が揺らぎ危機に瀕している「家庭」と、それを築くための根本である「結婚」。そうした現代の危機への認識から出発し、聖書、そして教会諸文書が何を教えているかを再確認したうえで、社会の最小単位である家庭の不変の価値を、過去の教会の独善的でしたらあった姿勢に対する反省を伴いつつ説く。愛と性のキリスト教的理解の指針である。

教皇フランシスコは2021年3月14日の「お告げの祈り」の後にこの特別年に向けた呼びかけを行った。「この年は、家族の愛に包まれて人々が成長するための特別な年です。家庭に教会と社会の注目を集めるために、創意にあふれる新たな司牧活動を行ってください。それぞれの家庭が、自分たちの家にナザレの聖家族が生き生きと息づいていると実感できるよう祈ります。聖家族がわたしたちの小さな家庭共同体を、誠実で大きな愛で満たしてくださいませように。その愛は、試練や苦境における喜びの源なのです。」

この特別年の企画として、教皇庁信徒・家庭・いのち省が同省のホームページに使徒的勧告『愛のよろこび』をテーマにした一連のビデオを定期的に掲載する予定である。(イタリア語ページ http://www.laityfamilylife.va/content/laityfamilylife/it.html その他、英語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語のページがある。)

- ◆ 師イエス祈り会 (日時)4月9日(金)10時ミサ後(場所)高宮教会・小聖堂(問合せ先) ☎090・7468・3631 西田
- ◆ 震災のための祈りのリレー (日時)4月11日(日)ミサ11時から/夕の祈り(テゼの祈り)16時から(場所)カトリック小郡教会(問合せ先) ☎070・2820・9613 Br.阿部ハロウ会
- ◆ 福岡家族支援実行委員会「きんしゃいサロン・手芸の会」(日時)4月6月/9月/10月 第3・4火曜日13時~15時(場所)大濠カトリック会館(問合せ先) ☎070・2333・1210(平野)
- ◆ 福岡ホスピスの会 「がんを通して人生を語る会」 偶数月はリモートカフェでの開催。(日時)4月17日 第3土曜日14時~当事者・家族・友人・その他どなたでも参加可 tereja-tanpopo@par.odn.ne.jp (問合せ先) ☎090・1162・6395 柴田
- ◆ 福岡召命を共に祈る会 (日時)4月20日(火)13時半から(場所)大名町教会・小聖堂(内容)ロザリオと分かち合い(問合せ先) ☎092・921・4532 山口
- ◆ 福岡チエナクルム(マリアの司祭運動) (日時)4月21日(水)10時ミサ・聖体賛美式(場所)大楠教会(指導)パウロ神父(カブチン・フランシスコ修道会)(問合せ先) ☎090・5021・5907 菊池
- ◆ 「キリストは生きている」青年オンライン分かち合い (日時)4月25日(日)15時~16時40分頃(場所)Noon(インターネット上のテレビ会議)(内容)「キリストは生きている」第4章(対象)18歳~30代の青年(問合せ先) anmaris\_stella@me.com
- ◆ 美野島司牧センター 降りてきてくださる神様とともに働きましょう。○ホームレスの方に手作りのお昼ごはん 毎週火曜日10時○ホームレス支援炊出し・夜回り 第2・4金曜日 調理14時 夜回り20時から○路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日14時

- ◆ 熊本地区召命を共に祈る会 (日時)4月15日(木)10時(場所)手取教会(内容)召命祈願ミサと話し合い(問合せ先) ☎096・339・1910 武蔵ヶ丘教会・キム神父
- ◆ 熊本 前任からの引継ぎで不安に押し潰されそうなお母さん、教区報を通じてたくさんの方とつながり、想いを分かち合える恵みに感謝しながら歩んで参りたいと思います。よろしくお願ひいたします。「1年生になったら、1年生になったら、友達1000人できるかな」(W)

- ◆ 北九州召命を共に祈る会 (日時)4月8日(木)14時(場所)小倉教会(内容)ミサ(司式・大塚了平神父)(問合せ先) ☎0949・24・905 藤井
- ◆ 熊本 編集後記

人と人の絆を大切に、ご葬儀のご相談は

**メモリードポール**

薬院・油山・野芥・小田部・今宿  
馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター  
六本松店・赤坂店

福岡メモリード(検索)

0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会

**聖マリア病院**  
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422  
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

**聖マリアヘルスケアセンター**  
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5  
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん  
と一緒に働いてみませんか

URL: http://www.st-mary-med.or.jp/

**福岡教区セクハラ対応窓口**

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談

セクシュアル・ハラスメント相談窓口

電話 080-2694-4182

受付時間 月~金(祝日を除く)  
10:00~12:00 13:00~16:00

キリスト教書籍・用品  
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!

<http://www.paulus.jp>

パウルスショップ

メディアによる福音宣教のために...

**サンパウロ福岡宣教センター**  
10:00~18:00(月~土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分\*駐車場完備  
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930